

総合計画審議会専門部会 Bグループ

6月2日(火) 18:30~20:00

出席者：桜田副部長 飯島委員 津本委員 今田委員 片桐委員 川合委員

黒田委員 佐藤委員 西川委員 野崎委員 村山委員

5-2-2 健全な財政運営

委員

経常収支比率95%の理由は？

中田課長補佐

なにもしなければ100パーセントを超える。抑えたいということ。

委員

押さえることが大きな目標か

中田課長補佐

抑えることで30~40億円が自由に使える。そこで95%以内にしたい。

経常収支は人件費、維持経費等の経常経費になる。そこをなんとか様々な手立て自由な財政運営をしたい。

委員

収入源の確立はできないのか？

中田課長補佐

人口が減っていく中で地方交付税、とか国補助金に依存する状況で、収入確保は大切。

人口がへると税収が増える見込みが立たない。

スクラップアンドビルド、選択と集中 をして財政運営をしたい。

委員

稼ぐ行政の考え方

ふるさと納税が入っているのが、魅力創造課担当だと思うが？それにより書き方は変わるのでは

中田課長補佐

町全体の稼ぎ方としてふるさと納税が大きいと考えており、記載している。

6億収入 3億返礼品 3億町の事業に利用

魅力創造課でお金をかけて収入が増えれば、と考えている。ただ、これのみに依存するのはダメだと考えている。不安定な財源だとも考えている。

委員

歳入部分について、返礼品でしっかり町民が稼いでできれば、町民の税金にもつながる。財政と魅力創造課が繋がっているということも知らせてもいいのでは？

委員

ガバメントクラウドファンディングは芽室町でやっているのか？ ネーミングライツについての説明をお願いしたい。

中田補佐

ガバクラはやっていない。今年度中に一つ取り組んでいきたい。

ネーミングライツは実施していない。今年度中に仕組みを作りたい。

金額的というよりも稼ぐ行政ということで、稼げる仕組みを作っていくこと。

委員

パークPFIも稼ぐ行政なのか？

中田補佐

民間資本を活用しているので稼ぐ行政となる。

委員

財政状況の共有とはどのようなイメージか

中田補佐

現状は堅いもので、広報誌に掲載しているだけである。

分かりやすく財政状況、将来の財政状況もお知らせできないかということで、掲載内容の検討を進めている。

委員

地域から要望を行っているが、積み上がっているだけである。何年後に行うという目途を教えてもらえないものだろうか？町民の理解も深まるのでは。

中田補佐

町は町民皆さんの要望を聞き、優先順位をつけて事業を実施する。

540事業すべてをできるわけではないので、選択と集中やスクラップアンドビルドを行っている。財政状況の周知を行いたい。

1-1-1 担い手の育成と農業の応援団づくり

委員

新規就農者の目標値の考え方について教えてほしい。

高橋課長

近年の実績値が R 6 年度 8 人 R 7 年度 9 人 というところから 2 9 人としている。

委員

離農する戸数は増えているのか

大浦係長

離農者数は毎年 1 0 戸前後減っていく見込みである。各農家の経営規模が拡大している。

親元就農は新規就農 9 件のうち 7 件で 2 件は新規就農である。芽室町はまだ経営規模拡大したいという人が多い。農業委員会の調査だが、経営規模したい人を積み上げると 2 万ヘクタールを超える。

委員

給食は何の法律に基づいて行っているのか？

大石係長

学校給食法になります。

委員

耕地防風林の記載が後退したように見えるが理由は？

大浦係長

日照や G P S への影響などいろいろな問題がある。農家の考え方によって、いざ植える場合になかなか進まない状況があった。苗木の助成や枝払いは補助する。

委員

J A めむろの農作物の側面支援とは何を行っているか？

大浦係長

国補助の活用の案内 施設、機械、ソフトなど

委員

P R や販路拡大の支援はないのか？

大浦係長

生産者が個人的に行っている事業の支援などを行っている。

委員

庁舎内との連携という部分を表現したほうがいいのでは？

委員

今回、恵フェスタをあらためて入れた理由は？

大浦係長

自主活動イベントの支援から始めたが、組織で運営することが難しいことから直営ですることになったことから記載を加えた。

委員

地産地消バスツアーはやらないのか？

大浦係長

農林課で行う部分はやめていく。他課で違う事業として実施を検討している。参加者の固定化もあったことから、一定の役割を果たしたと考えている。

委員

町民向けというところは継続してもらいたい。

1－1－2 農業生産性の向上と経営基盤支援

委員

スマート農業についてはメリット・デメリットがある デメリットも記載すべきではないか。

高橋課長

記載の変更を検討していきたい。

委員

陸稲について記載を追加するような題材ではないのか？

高橋課長

一部農家の若者でやりたいという声はある。ただ現在、相談までは来ていない。

委員

スマート農業の現状の労働力不足や資材不足 資材の高騰 甜菜だけではなく全体の支援について町の理解を記載することはどうだろうか？

高橋課長

要請活動の文言を追加することを検討したい。

1－1－3 農地・土地改良施設等の整備・充実

委員

小水力発電施設について説明を？

佐々木係長

町も一部負担はしていますが、美生ダムに国の事業において設置したものです。

委員

収益はどのくらい。

佐々木係長

机上の計算となるが、１億円ぐらいです。

委員

排水管の延長が伸びているが新たに敷設するのか？

佐々木係長

国営事業で設置した管から末端の管までの設備の距離であり、今後想定している事業で実施する距離である。

１－１－４ 地域林業の推進

委員

町有林の面積はどのぐらいか？

大浦係長

９０８ヘクタール 国有林１５０００ヘクタール です。

委員

最近山火事が増えているが、保険はかけているのか

大浦係長

植栽した年度は加入しているが、以降、保険は加入していない。

委員

幹線防風林について 植栽が止まっている感じがしている。更新のスピード感が遅れているのでは？

大浦係長

財源の関係もあり遅れている部分がある。森林環境譲与税を活用しながら進めたい。

委員

成長を止めるなどの工夫はできないか？管理できる仕組みはないのかなと。

委員

町民の理解度を深めることはするのか？

大浦係長

以前やっていた植樹祭等のようなことを進めたい。

委員

イベントに参加した立場で重要性に気付くことができた。定期的に行っていくことが必要と考える。